

## 熱い走り 感動をありがとう



## 市で初の開催「高校駅伝競走大会」



田村市で初の開催となる「男子第57回、女子第30回県高校駅伝競走大会」が10月24日、市陸上競技場をスタート・ゴールで開かれました。

本来は開催地として昨年に行う予定でしたが、震災と原発事故により延期となり、1年遅れの実施となりました。開会式は大会前日、市総合体育館で開かれ、大勢の出場校選手が見守る中、田村高校の小枝理奈主将が力強く選手宣誓しました。

男子は出場44校の他、相双地区5校の連合チーム「相双」がオープン参加し、7区間42.195kmを、女子は26校が出場し、5区間21.0975kmを競いました。

当日は強風が吹く、あいにくのコンディションでしたが、選手の皆さんは高低差がある難しいコースをものともせず、力強い走りを見せました。競技場のスタンドや沿道には、多くの市民などが集まり、選手一人一人に熱い声援や拍手を送って選手を後押ししていました。

男子は学法石川が2時間10分14秒で2年連続4度目、女子は田村が1時間11分53秒で5年連続18度目の優勝を果たし、12月23日に京都市で開かれる全国大会出場を決めました。



## スポーツを通じて世代交流



第24回常葉クラブ杯争奪6人制バレーボール大会が10月21日、常葉体育館で行われ、市内から12チームが参加しました。

大会には中学生から70歳代までの幅広い年代の選手が出場し、ハッスルプレーで熱戦を繰り広げました。また、お互いのチームが好プレーを見せるなど、世代を超えて交流を深めました。

- 優勝 常葉スポ少スタッフチーム(常葉) 写真上
- 準優勝 VEGA☆(滝根) 写真下
- 第3位 がんばれ常葉(常中女子バレー部)

## 秋晴れをウォーキング



都路公民館では10月21日、いわき市内を巡るウォーキング教室を行いました。紅葉には少し早かったものの「国宝白水阿弥陀堂」を巡り、楽しいひとときを過ごしました。炭鉱資料館では昔の石炭堀を見学し、昭和の時代を振り返っていました。

## 気軽にテニスを楽しむ



都路公民館のチャレンジ教室生と常葉公民館のアソベンチャークラブ員が10月7日、常葉体育館で最近考案されたミニテニスに挑戦しました。老若男女問わず、誰でも気軽にできるニュースポーツで、子どもたちはすぐに覚え試合形式で楽しんでいました。

## 小学生の歌声に感動



都路公民館の福寿草大学は11月20日、市文化センターで開かれた「小学校童謡・唱歌音楽祭」を鑑賞しました。

田村の四季を表現する小学生の美しい歌声と一生懸命に歌う姿に感動し、参加した皆さんは大きな拍手を送っていました。

また、全員で合唱し、会場が一つになるなど忘れられない一日になりました。

## 撮影の基礎と技を学ぶ



常葉公民館の成人講座で、初心者向けコンパクトデジタルカメラを使った「写真教室」が10月11日から11月22日までの計4回開かれました。

参加者は、船引在住の講師、柳沼信太郎さんの指導でピント合わせや逆光での撮り方など、いろいろな条件の中で上手に撮る技を学びました。